

※公募の詳細については、公募機関(AMED)のwebサイトで必ず確認してください。

(H28.11.08現在)

【H29年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】

【公募締め切り・事業紹介リンク先】

肝炎等克服実用化研究事業	研究推進課学術調整係への提出期限 平成28年12月2日(木) (AMEDの期限は平成28年12月9日(木)正午【厳守】) ○提出方法:e-Rad(機関承認要)
http://www.amed.go.jp/koubo/010620161013-02.html	※希望者には、先端科学・イノベーション推進機構(O-FSI)による提案書アドバイス等を行いますので、O-FSI(fsojimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)へ相談ください。

【公募課題概要】

	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究内容、求められる成果等
肝炎等克服実用化研究事業				
1. 肝炎等克服緊急対策研究事業				
(101) 肝線維化や肝硬変への病態進行に関わるメカニズムの解明及び予後予測に資する基盤研究	20,000千円～30,000千円程度	3年	0～2課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、肝線維化や肝硬変の治療薬・治療法、侵襲度の低い診断法等の開発を目指し、未だ完全には解明されていない肝線維化機序に関する病態解明及び肝硬変患者の病態進行に関わるメカニズムの解明等に資する基礎研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 肝線維化や肝硬変への病態進行の解明、肝線維化や肝硬変への病態進行因子の同定、診断法の開発、肝炎治療ターゲットの同定、肝硬変治療法の開発、学術論文発表、特許出願/取得等</p>
(102) 肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究	10,000千円～20,000千円程度	3年	0～1課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、ウイルス性慢性肝炎からの肝硬変進行や肝硬変患者の予後予測を目的に、Child-Pugh分類による重症度別患者数や予後等に関する実態を把握し、肝硬変の罹患率や肝硬変患者の50%生存期間の推計や肝硬変患者の治療指針等の作成に資する全国規模の研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 肝硬変の罹患率、Child-Pugh分類による患者病態の把握、Child-Pugh分類による患者の予後に関する知見、ガイドライン・治療指針等の作成に資するエビデンス、学術論文発表 等</p>
(103) C型肝炎のウイルス排除後に起こる病態に関する研究	30,000～50,000千円程度	3年	0～3課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、C型肝炎のウイルス排除後の長期的経過で見られる肝細胞に起こる様々な変化を実験動物レベルや病理学的アプローチ等により解明したり、臨床的アプローチによる知見を獲得したりして、SVR後症例の適切な医療のための基礎・臨床を含めた幅広い観点で実施する研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 ウイルス排除後の肝硬変への進行、発がんなどに関する知見、肝硬変の新規治療法の開発、肝がん予防法の開発、非臨床的POCの確認、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
(104) 肝移植後のウイルス性肝炎に対する治療法や病態進展制御法に関する研究	10,000千円～20,000千円程度	3年	0～1課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、肝移植後患者におけるウイルス性肝炎再発のメカニズムを解明し、種々の抗ウイルス療法の有効性・安全性の評価や移植後の病態進展及び肝がんを抑制するための治療の標準化に関する研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 肝移植時のウイルス性肝炎再発のメカニズムの解明、ウイルス性肝炎再発防止法の開発、ウイルス性肝炎再発時の治療指針等の作成に資するエビデンス、学術論文発表、臨床研究 等</p>
(105) 小児のウイルス性肝炎患者の病態解明と治療の標準化に関する研究	10,000千円～20,000千円程度	3年	0～1課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、乳幼児期を含む小児のウイルス性肝炎患者の病態を明らかにし、最新の治療法を踏まえた、治療の標準化に資する全国規模の研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 小児のウイルス性肝炎患者の病態の解明、小児のウイルス性肝炎患者の新規治療法の開発、小児のウイルス性肝炎患者治療指針等の作成に資するエビデンス、学術論文発表、臨床研究 等</p>

(106) インターフェロンフリー治療不成功症例に関する全国規模研究	40,000千円～50,000千円程度	3年	0～1課題程度	<p>【目標】 本公募課題では、現在我が国で喫緊の問題となっているC型肝炎のインターフェロンフリー治療不成功症例における高度な薬剤耐性の獲得を阻止するための治療方針の作成に資する全国規模の研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 薬剤耐性ウイルスの解析、インターフェロンフリー治療不成功症例の実態把握、インターフェロンフリー治療不成功症例の治療指針等の作成に資するエビデンス、学術論文発表 等</p>
(107a・107b) ウイルス性肝疾患 (B型肝炎を除く) 又は非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) における新たな知見の創出や新規技術の開発に関する研究	(107a) 10,000千円程度 (107b) 30,000千円程度	3年	(107a) 0～4課題程度 (107b) 0～2課題	<p>【目標】 本公募課題では、ウイルス性肝疾患 (B型肝炎を除く) または非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) に関連する基礎・臨床分野について、患者や社会のニーズ及び医療上のニーズも十分に勘案し、独創性や新規性、発展性に富む研究開発を実施し、これらの疾患に関する診断法、治療法、予防法の開発に関する新たな知見、革新的な医薬品、医療機器及び医療技術の創出を目指した研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 肝炎発症機構の新たな知見、肝硬変発症機構の新たな知見、肝発がん機構の新たな知見、肝炎等発症に関する新たな宿主因子の同定、肝疾患治療また診断技術の改善を提言しうる新たなエビデンス、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
2. B型肝炎創薬実用化等研究事業				
(201) B型肝炎新規治療薬の探索	50,000千円～100,000千円程度	最長5年	0～2課題程度	<p>【目標】 新規メカニズムに基づく抗ウイルス効果を示す化合物や薬剤耐性ウイルスに有効な化合物等、B型肝炎の新規治療薬の候補となり得る新規化合物の探索、既存薬剤やその周辺化合物または新規骨格の探索による新薬開発を行う研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 新規評価系の作製、B型肝炎の新規治療薬シーズ/候補物質の同定、ドラッグリポジショニングによるB型肝炎の治療薬シーズ/候補物質の同定、候補物質の最適化、動物での有効性・安全性の確認、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
(202) B型肝炎ウイルスの解析に関する研究	50,000千円～150,000千円程度	最長5年	0～3課題程度	<p>【目標】 B型肝炎ウイルスゲノムが細胞核へ運ばれ、転写・翻訳されて新たなウイルス粒子が形成・分泌される機構、B型肝炎ウイルスの細胞への結合・侵入機構、B型肝炎ウイルスの構造やその修飾因子の解明等、B型肝炎の新規治療薬を開発するために必要となるウイルスの感染複製機構の解明を行う研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 詳細なウイルス複製機構の解明、B型肝炎治療薬の新規ターゲットの同定、新規ターゲットのバリデーション、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
(203) B型肝炎ウイルスの感染・増殖に関わる宿主防御機構の解析	50,000千円～100,000千円程度	最長5年	0～2課題程度	<p>【目標】 B型肝炎ウイルス感染により誘導される宿主の反応機序を解析することにより、新規治療薬の開発を目指す研究または、B型肝炎ウイルス感染に関わる宿主因子 (免疫系、消化器系等、または細胞生理等) の解析を行うことにより宿主側の防御機構の解明を目指す研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 B型肝炎ウイルス感染による宿主反応に係る新たな知見、宿主側防御機構の解明、新規B型肝炎治療法の開発、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
(204) B型肝炎ウイルス持続感染実験モデルを用いた病態解明及び新しい治療法の開発に資する研究	100,000千円～200,000千円程度	最長5年	0～2課題程度	<p>【目標】 B型肝炎ウイルス持続感染を再現する小動物モデルを用いてB型肝炎ウイルスの感染メカニズムや病状の進展機構、肝発がん機構等の解明を行うことにより、新規治療薬の開発を目指す研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 新規B型肝炎ウイルス持続感染小動物モデルの確立、実験動物系統の樹立及び企業導出、B型肝炎ウイルス感染メカニズム/病状の進展機構/肝発がん機構等の解明、B型肝炎ウイルス感染時の宿主因子に係る新たな知見、B型肝炎治療薬の新規ターゲットの同定、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>

(205) B型肝炎根治に向けた新規治療法の開発に関する研究	100,000千円～200,000千円程度	最長5年	0～2課題程度	<p>【目標】 B型肝炎ウイルスの排除を可能とする治療法の開発に関する研究で前記(201)～(204)の研究に当てはまらないもの(B型肝炎ウイルス感染症の免疫療法、再生医療、遺伝子治療等につながる研究)を採択する。</p> <p>【求められる成果】 B型肝炎ウイルスの排除を可能とする方法あるいは方法に関する知見、全く新規なB型肝炎治療法の開発、非臨床的POCの確認、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>
(206) 実用化に向けたB型肝炎治療法の開発	100,000千円～300,000千円程度	最長5年	0～2課題程度	<p>【目標】 研究成果の企業導出、医師主導型治験開始等をめざす。既に特許を取得(出願中あるいは出願準備中のもも含む)しているか、または譲り受けた場合、あるいは実用化に向けた治療法等開発体制(整備中のもも含む)が確立している場合等を支援する。</p> <p>【求められる成果】 医師主導治験又は臨床試験開始(治験実施計画書の提出)、非臨床試験の確認、企業への導出、特許出願/取得 等</p>
(207a・207b) B型肝炎領域における新たな知見の創出や新規技術の開発に関する研究	(207a) 10,000千円程度 (207b) 50,000千円程度	最長3年 *最大2年の延長あり	(207a) 0～5課題 (207b) 0～3課題	<p>【目標】 B型肝炎に関連する基礎・臨床分野について、患者や社会のニーズ及び医療上のニーズも十分に勘案し、独創性や新規性、発展性に富む研究開発を実施し、肝炎に関する診断法、治療法、予防法の開発に関する新たな知見、革新的な医薬品、医療機器及び医療技術の創出を目指した研究を採択する。</p> <p>【求められる成果】 B型肝炎ウイルスの排除を可能とする方法あるいは方法に関する知見、全く新規なB型肝炎治療法の開発、B型肝炎領域における新たな知見、B型肝炎治療また診断技術の改善を提言しうる新たなエビデンス、非臨床的POCの確認、学術論文発表、特許出願/取得 等</p>